

様式 3

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受付	
質 疑 発 言 通 告	
質 疑 の 要 旨	1. 赤土流出防止に向けた根本的な農地対策など部局横断的な取組について（経労・1） 赤土流出は依然として深刻であり、単なる防止施設の整備では限界があり、農地造成や営農形態の見直しを含む部局横断的取組が必要である。県として具体的な連携体制をどう構築して行く考えか、伺う。 2. 進捗が遅れているMICE施設整備に係る今後の方針について（経労・5） MICE施設整備は観光・経済振興の要だが、県として、整備手法の見直しや民間活力導入の可能性をどのように検討しているのか、伺う。
上記により質疑したいので、決算特別委員会運営要領の規定により 通告します。 令和7年10月17日 決算特別委員 新垣 新 印 決算特別委員長 殿	

※ 記載例は、議会運営委員会決定事項集「17 発言通告書の記載方法等について」の記載例を御覧ください。

様式 3

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受付	
質 疑 発 言 通 告	
質 疑 の 要 旨	1. 消防防災計画における消防防災へりの導入及び運用について（総務・4） 災害の大規模化・多発化が進む中で、消防防災へりの導入は喫緊の課題であるが、県として、導入の見通し、費用負担、運営管理の在り方をどのように考えているのか、伺う。
上記により質疑したいので、決算特別委員会運営要領の規定により 通告します。 令和7年10月17日 決算特別委員 大屋 政善 印 決算特別委員長 殿	

※ 記載例は、議会運営委員会決定事項集「17 発言通告書の記載方法等について」の記載例を御覧ください。

様式 3

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受付	
質 疑 発 言 通 告	
質 疑 の 要 旨	1. 臨時財政対策債の借り換えについて（総務・1） 令和7年度当初予算が修正されたが、実際の借換額はどのようになっているのか、また今後の借換方針について、伺う。 2. 基金の運用状況と今後の見通しについて（総務・11） 県が保有する各種基金の運用利回りは低位にあるが、一括運用の検討状況、金利上昇局面での運用方針、債券ラダー型運用などリスク分散策をどう考えているか、伺う。
上記により質疑したいので、決算特別委員会運営要領の規定により 通告します。 令和7年10月17日 決算特別委員 新垣 善之 印 決算特別委員長 殿	

※ 記載例は、議会運営委員会決定事項集「17 発言通告書の記載方法等について」の記載例を御覧ください。

様式 3

令和 年 月 日 午前・午後 時 分 受付	
質 疑 発 言 通 告	
質 疑 の 要 旨	ワシントン駐在問題に関して、知事は令和6年12月24日付で法人設立に関する追認手続きを行ったとしているが、この追認行為によって過去の一連の行為が正当化されるという法的根拠については、百条委員会の審議において何ら明らかとなっていない。知事自らが設置した検証委員会からも違法の疑いを指摘され、監査委員からは不適切な事務処理が継続されていたとの指摘が相次いでおり、令和6年度における同事業の予算執行についても違法の疑いを免れないものと考えている。 1. ワシントン駐在員活動事業に係る委託料支出の適法等及び非弁行為への支払いではないかについて（総務・2） 一部非弁行為と指摘された業務を含む委託料を経由した追加払込資本による赤字補填のスキームが明らかとなったが、会計原則に適合するのかどうか、未だに不明である。こうした事態に対する予算執行責任者としての知事の認識を伺う。 2. 平和啓発に関連する各種事業の統合の必要性とワシントン事務所との連携不足について（総務・6） 県内外で多様に実施されている平和啓発事業について、目的や手法の重複、情報発信の断片化がみられる。事業内容の再精査や統合・廃止が必要だと考えるが、見解を伺う。 また、ワシントン事務所と連携する事業、しない事業が混在・散見されており、整理された考え方があるのか、伺う。 3. ワシントン駐在員活動事業の成果について（総務・7） 本事業においては違法な法人設立・運営を前提とした活動が継続されてきたことが明らかとなっている中で、約8年にもわたって法令違反を繰り返したうえでの事業の成果を正当化する根拠について、伺う。
上記により質疑したいので、決算特別委員会運営要領の規定により 通告します。 令和7年10月17日 決算特別委員 小渡 良太郎 印 決算特別委員長 殿	

※ 記載例は、議会運営委員会決定事項集「17 発言通告書の記載方法等について」の記載例を御覧ください。